

第 42 回 鎮痛薬・オピオイドペプチドシンポジウム開催のお知らせ

この度、第 42 回鎮痛薬・オピオイドペプチドシンポジウムを、令和 5 年（2023 年）9 月 2 日（土）-3 日（日）に、東京理科大学葛飾キャンパスにおいて開催することになりました。

鎮痛薬・オピオイドペプチド研究会（Japanese Narcotics Research Conference：JNRC）は、薬理あるいは生理作用を中心に、緩和医療を始めとする疼痛制御の問題等を、基礎・臨床の両面から幅広く捉え、その成果を普及することを目的としてきました。

毎年恒例のシンポジウムも今年 42 回目を迎えます。今回は「基礎と臨床の融合を目指したオピオイド研究：現状と展望」をテーマに、日常臨床で生じている問題点・課題を基礎および臨床研究の双方向からの意見・情報交換を通じることで新たな治療法を提案・提供できる機会とすることを考えております。

現在、参加登録・一般演題登録を募集しております。一般演題（ポスター発表）では若手優秀賞も企画しておりますので、周りの学生の皆様にも是非お声がけいただけますと幸いです。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

開催概要

第 42 回 鎮痛薬・オピオイドペプチドシンポジウム

開催日：2023 年 9 月 2 日、3 日

開催形式：現地および Zoom のハイブリッド開催

現地会場：東京理科大学 葛飾キャンパス 図書館ホール

参加費：一般 8000 円、大学院生および学部 5 年生以上 3000 円、
学部生 4 年生無料

懇親会費：一般 7000 円、大学院生・学部生 3000 円

参加方法：下記ホームページより **7 月 19 日(水)**までに事前参加登録をお願いいたします。（募集期間を 2 週間延長しました）

詳しくは下記大会 HP をご参照ください。

<https://jnrc2023.wixsite.com/rikadai>



9月2日(土)

・基調講演 オピオイド細胞学とオピオイド臨床の融合

演者：成田 年（星薬科大学薬理学研究室教授、国立がん研究センター
研究所 がん患者病態生理研究分野 分野長）

・シンポジウム1 痛みと情動を制御する生体メカニズム

・シンポジウム2 基礎と臨床の融合を目指したオピオイド研究-現状と展望-

・海外講演

1. Cannabinoid system activity shapes ageing process

演者：Andras Bilkei-Gorzo (University of Bonn, Germany)

2. Opioid receptors in neuroinflammatory cells in pain
and chronic opioid effects

演者：Claire Gaveriaux-Ruff (Université de Strasbourg, France,
Profesor)

9月3日(日)

・特別講演 神経とグリアの多様性から考える痛覚伝達制御機構

演者：津田 誠（九州大学大学院 薬学研究院 薬理学分野 教授）

・シンポジウム3 疼痛研究の新展開 ～基礎研究から臨床応用まで～

・シンポジウム4 薬剤師によるオピオイド鎮痛薬に関する研究と教育

・一般演題（ポスター発表）**若手優秀賞**あり

第 42 回鎮痛薬・オピオイドペプチドシンポジウム (JNRC2023)

世話人代表 斎藤 顕宜

事務局長 山田 大輔

〒278-8510 千葉県野田市山崎 2641

東京理科大学 薬学部 薬学科

薬理学研究室（斎藤研究室）

<https://yakurisaitohlab.jimdofree.com/>